Creative Enzymes®

クロイセオバクテリウム・メニンゴセプティクム由来のα-N-アセチルガラクトサミニダーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-1259

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	α-N-アセチルガラクトサミニダーゼ (EC 3.2.1.49) は、細菌および動物由来のグリコシド加水分解酵素で、ナガラーゼとも呼ばれています。この酵素をコードするヒト遺伝子は NAGA です。この遺伝子の□異とα-N-アセチルガラクトサミニダーゼ活性の欠乏が、シンドラー病の原因として特定されています。
別名	EC 3.2.1.49; α-N-アセチルガラクトサミニダーゼ; アルファ-N-アセチルガラクトサミニダーゼ; α-アセチルガラクトサミニダーゼ; N-アセチル-α-D-ガラクトサミニダーゼ; N-アセチル-α-ガラクトサミニダーゼ; α-NAGAL; α-NAGA; α-GalNAcase

製品情報

種	クロイセオバクテリウム・メニンゴセプティクム
由来	E. coli
分子量	47 kDa
濃度	20,000 ユニット/ml
単位定義	1ユニットは、1 nmolの(GalNAcα1-3)(Fucα1-2)Galβ1-4Glc-7-amino-4-methyl-coumarin (AMC)から、37°Cで1時間に> 95%の末端α-D-N-アセチルガラクトサミンを切断するのに必要な酵素の量として定義され、総反□体積は10 µlです。

保管・発送情報

保存方法	-20°Cで